禁裏御所御用日記 二六

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

大正

明和元甲申年十月八日
大嘗會卯日次第

帝國圖書館藏 216

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

大掌會卯日次第

平明中臣祭大掌宮殿

及門

兵庫寮立神楯戟於

掌宮南門東西各一枚

次伴佐伯各一人分着

南門左右外掖胡床

次或部設大忌成位於

南門外庭

大正
6. 4. 13
購求

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

大臣取去拂筥參上
次參議弁舁坂枕
次侍從内舍人大舍人
等舁神座御座等參
入
次掃部入殿内供之
次中臣忌部各一人率
縫殿大藏小官人奉
置衾單於悠紀殿主基同之
率内藏官人奉置御服
二襲於廻立殿

次神祇官人率神服
宿禰入奠繒服案於
悠紀殿神座上主基同之
忌部二人入奠麁服案
於同座上主基同之
次神祇官率内膳膳部
等於悠紀膳屋有稻舂
事八乙女唱歌主基同之
次於同所料理神饌
主殿寮以忌火設燈燎

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

於兩院各二燈二燎
伴佐伯率門部設庭燎
於南門外
主殿寮供大忌御湯
戌剋御廻立殿帛御衣
不警蹕入御之後殊禁
高聲
攝政候御前
小忌公卿着巽角庭上
座西面北上

大臣一人着小忌就坤
角座東面
大忌公卿着座南鳥居外北面東上
次主殿寮供小忌御湯
有御湯殿事
次着御祭服
次供御手水
采女申時
出御

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

其道大藏輔豫鋪二
幅布單宮內輔從葉
薦隨御歩敷布單上
掃部頭隨御後卷之
人不敢踏
先大臣率中臣忌部前
行 大臣在中央中臣
在左忌部在右
次御巫猿女
次主殿官人二人執燭

次內侍取劔璽候左右
御歩
車持朝臣取菅蓋奉
差覆
子部宿祢笠取直各
一人取蓋綱
次攝政
內侍捧劔璽候掌殿
西面簀子

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

中臣忌部御巫猿女等
跪鳥居内
主殿執燭候階下
御悠紀掌殿
經大掌宮北門并悠
紀殿西入自南面
戸御
大藏宮内掃部車持
子部笠二取等出鳥居外
播政入神殿

小忌群官各着座
大臣南鳥居内東邊西面
納言已下同鳥居外西面北上
近代并廿納言外記史
不着之
次開門
佐伯佑伯開大掌宮南門
次奏悠紀風俗
次大忌公卿就庭中版
位 南鳥居外
異位重行 拍手訖復座

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

亥一刻供御膳
四刻撤之
宮主采女等従其儀
次還御廻立殿其儀如初
子一刻神祇官率内膳
膳部等遷主基膳座
料理神饌
次主殿寮供御湯
御湯殿已下一如悠紀
儀

遷御主基掌殿
小忌群官各着座
大臣南鳥居内面遏東面納言
已下同鳥居外東面北上
大忌公卿無移着之儀
次奏主基風俗
次大忌公卿就庭中版
位拍手
寅一刻供御膳
四刻撤之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

還御廻立殿
次采女進南戸有還申
事
勅曰云々
采女称唯退出
次着御帛御衣還御本
殿
供佐伯閉南門

辰日節會次第

一辰日悠紀節會次第
主水司供解齊御手水
御粥
中臣鎮祭壞却大嘗宮
兩国司裝束宴會儀
其儀南庇設拜御座
北面
東上
立臺盤小忌座在
其上頭中務省右伏南

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一許丈置尋常版弐部
省尋常版南去一許丈
置壽詞版其南西立標
小忌
在前
拜卿着伏座
内辨合官人敷膝突
召外記問諸司具否
次拜卿起座

近衛陣階下
出御怒紀帳
近伏称警
拜卿着外弁 以小忌為先
政官同着床子
外弁上卿令召使下式
筥
召外記問諸司具否

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

内辨於軒廊邊行事
次開門
群卿着標下 異位重行 小忌不列
諸伏立
次神祇官中臣捧賢木
就版位跪奏壽詞
群臣共跪奏訖中臣退
次弁奏兩国所獻多米
都物色目 今度無此儀
群卿拍手訖退
諸伏居
式部撤壽詞版
内辨着東廊代几子
内侍臨檻
次内辨謝座昇殿着几子
政官着硼下座

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

次宮内省率大膳職造酒
司列多賀須岐比良須
岐物等於庭中即持去
次内辨召舍人
大舍人称唯
次少納言着版
内辨宣召刀称
少納言称唯出召之

群卿参列 異位皇行以小忌為先
諸伏立
内辨宣敷尹
群卿謝座謝酒訖昇
殿着座
諸伏居
次撤御臺盤杷
内膳供御膳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

次供殘御膳

次賜臣下粉熟 以小忌為先 已下 御之

居訖内辨候

天氣

御箸鳴

臣下應之

次供蚫巻

次供御飯

次供進物所御菜

次供御厨子所御菜

次賜臣下飯汁

居訖内弁候

天氣

御箸鳴

臣下應之

次供白黒御酒 各四杯

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

賜臣下

次一献

悠紀献鮮味

行事弁率国司并膳

部執之立庭中

次二献

奏風俗

次三献

仰御酒勅使

献御拂頭 今度無和琴臺

検校国司等下殿舁之

昇階立南栄

次賜臣下拂頭

行事国司等舁之立殿

坤庭上

此間検校行酒 弁執雜子

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

入御

近仗称蹕

次拝礒退下

主基節會次第

近衛陣階下

出御主基帳

近仗称警

内辨着西廊代元子

内侍臨檻

次内弁謝座昇殿着元子

政官着砌下座

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

入御

近仗称蹕

次群卿退下

主基節會次第

近衛陣階下

出御主基帳

近仗称警

内辨着西廊代几子

内侍臨檻

次内弁謝座昇殿着几子

政官着砌下座

主基節會

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

群卿叅列 以小忌為先已下御之

諸伏立

群卿謝座謝酒訖昇殿

着座

諸伏居

次供御膳

其儀如前不供白黒

御酒

次一献

次二献

奏風俗

次三献

次内弁奏見叅訖賜廿

納言

次叅議向祿所

次群卿下殿賜祿退出

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

入御

近伏称蹕

已日節會次第

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

已日悠紀節會次第

御裝束一如昨　不置壽詞飯

群御着仗座

内辨令官人數脉突

弁外記問諸司具否

次群御起座

近衛陣階下

出御悠紀帳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

近伏称警

群卿着外弁 以小忌為先 已下御之

政官同着床子

外辨上卿令召使下式笞

召外記問諸司具否

内辨着東廊代几子

内侍臨檻

次内弁謝座昇殿着几子

政官着砌下座

次開門

次内辨召舍人

大舍人称唯

次廿納言就版

内辨宣召刀称

廿納言称唯出召之

群卿參列 異位 皇行

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

諸伏立
内弁宣敷子
群御謝座謝酒訖昇
殿着座
諸伏居
次撤御臺盤帊
内膳供御膳
次供殘御膳

次賜臣下粉熟 以小忌為先 已下倣之
居訖内弁假
天氣
御着鳴
臣下應之
次供蚫蒸
次供御飯
次供進物所御菜

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

次供御厨子所御菜
次賜臣下飯汁
居訖内弁候
天氣
御著鳴
臣下應之
次一献
奏倭舞 今度無此儀
次二献
奏風俗
次三献
仰御酒敕使
入御
近伏祢蹕
次群卿退下

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

主基節會次第

近衛陣階下

出御主基帳

近仗称警

内辨着西廊代元子

内侍臨檻

次内弁謝座昇殿元子

政官着御下座

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

群卿参列　以小忌為先已下倣之

諸仗立

群卿謝座謝酒訖昇殿

着座

諸仗居

次供御膳

其儀一如前

次一献

参回舞　今度無此儀

主基献鮮味

行事弁率國司并膳部

執之立庭中

次二献

参風俗

次三献

献御捧頭　今度無和琴臺

撿挍國司等下殿舁之
昇階立南栄
次賜臣下抃頭
行事国司舁之立殿坤
庭上
此間撿挍行酒 内竪執瓶子
次内辨奏見参訖賜
廿納言

次参議向禄所
次群卿下殿賜禄退出
入御
近仗称蹕
次行事藏人裝束清暑堂
代 今度無出御
次御神樂 無御遊儀

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

豊明節會次第

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

豊明節會

豊明節會次第

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

豊明節會次第

早旦裝束司奉仕上下

裝束

其儀撤御帳帳額高

御座當母屋西第二

間設群御座同間南庇

設小忌座各立臺盤

播舞臺於殿前中務

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

有置版式部着立標

群卿着仗座

内辨令官人敷膝突

召外記問諸司具否

次外記持参外任奏

次内弁以職事奏問訖返

賜

次内弁召外記給外任奏

次群卿起座

近衛陣階下

天皇御高御座

近仗称警

群卿着外弁 以小忌為先 已下倣之

政官同着床子

外弁上卿令召使下式筥

召外記問諸司具否

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

内弁着兀子
内侍臨檻
次内弁謝座昇殿着兀子
政官着砌下座
次開門
圍司分居
次内弁召舍人
大舍人称唯

次少納言就版
内弁宣召刀称
少納言称唯出召之
群卿參列 異位 宣行
諸仗立
内弁宣敷尹
群卿謝座謝酒訖昇殿
着座

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

諸伏居
次撤御臺盤疋
内膳供御膳
次供殘御膳
次賜臣下粉熟 以小忌為先 已下 倣之
居訖内弁候
天氣
御箸鳴

臣下應之
次供鮑羹
次供御飯
次供進物所御菜
次供御厨子所御菜
次賜臣下飯汁
居訖内弁候
天氣

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

御着鳴

臣下應之

次一献

國栖奏

次二献

次三献

奏久米舞 今度無此儀

仰御酒勅使

奏吉志舞

大嘗別當退下

掃部立床子

別當立壇上

大嘗祭物聲

内弁奏可召別當由

仰參議令召之

別當參上

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

掃部移床子於舞臺
北頭
哥人着床子祭哥笛
下小忌臺盤
舞殿出舞畢退入
圍司引導
女官棄燭
群卿下殿列立拜舞畢

復座
次倭舞
次内弁奏　宣命見參
祿法
次内弁召參議一人賜
宣命召又一人賜見
參祿法參議向祿所
群卿下殿列立

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

次宣命使着版

宣制一段　群臣再拝

又一段　群臣拝舞

群卿儀座

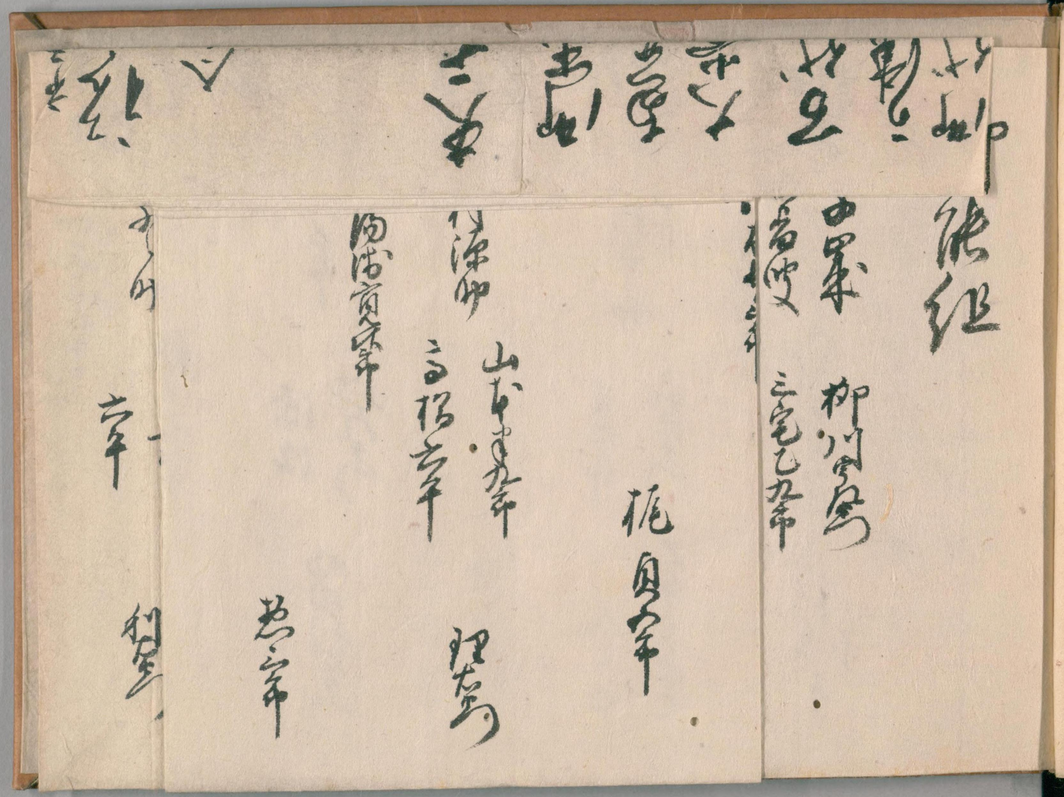
次群卿下殿賜禄退出

入御

近仗、称蹕

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

御能組

蓬　子果　柳川国恵
三宅渡　三宅乙九郎

仙人風流　三宅無二郎

壱雲　中村八郎二郎　開口　小川宮恵　榎田千次　小宇今七
三宅六郎　山田永義　山田長恵

石

東廣　藤川常郎

田村　竹田千七　熊谷恵郎　尾上万助　奥田又四郎
三宅長郎

石

加藤安之郎

鼻廣本侯　東高之郎

熊野　山本長十郎　中村源二郎　平鳴源治
三宅本長恵　長恵

花枝　三宅廣九郎

大江山　素市之郎　中村貝二郎　膳井三郎　平井久云
速水六三郎　小笹九郎

石

八本長二郎

若市　梶貞六郎

梅枝　川瀬桂之進　西村源郎　山本中九郎
三宅松六郎　理太郎

石

海沢貞六郎

鳴子　恵二郎

八帝三宮
橘川　孫三帝　源治　宮内　昭和宮

橘軍　　地三帝

吉十帝
花軍　西村千仰　半九帝　今日七
　　土和宮　石井二十七

　　小中熊次帝

鷲山　　貞六帝

平七
源本　八宮三帝　蓮山信宮　美林吉宮
　　西川和仰　石井市三帝

　　出水三宮

西吉二帝　　畜吉三帝

橘之進
大鉄鉄吉　千仰　橘中五帝　六帝　利宮

市五帝
祝会　忠仰　万仰　久云
　　三井桜帝　大仰

今日

開口

夫天下之源御神此

御宗さ人八百万代治ゆく民ふ
西ゆ乃ありてさよとし告ゆ
大嘗ゆ　治の千里此和之も
万代の寿久ゆる此雲井乃遊す
可津しこさくいともかしこき
御代の吉め高かり給ひとゝや

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用